



初期消火協力者に対し感謝状贈呈

5.25 wed

4月に市内で火災が発生した際に、初期消火活動を行った田中芳博さん（右）、平原由美子さん（中央）、田中博基さん（左）に対し、久留米広域消防本部三井消防署の村田署長から感謝状が送されました。

火災発生時、出火元の家には誰もおらず、偶然外出先から帰宅した芳博さんが火災を発見し、息子の博基さんと隣人の平原さんと協力して、初期消火活動を行ったそうです。3人の連携した消火活動によって、消防隊が到着した時にはほぼ鎮火されており、被害は最小限に食い止められました。

村田署長は「火災では早期発見と初期消火が重要。迅速かつ適切な行動に感謝します」と話しました。



消防団が被災地支援活動を行いました

小都市消防団が、熊本地震で被害があった熊本県御船町で被災地支援活動を行いました。4月から6月にかけて5回にわたり被災地を訪れ、避難所周辺で炊き出し活動を行いました。

田中保夫団長を始めとする112人の団員が活動に参加し、避難所で不安な生活が続く被災者の方へ、カレーライスや親子丼などの温かい食事を計5,850食振る舞いました。

相棒「ケンちゃん」とともに
91歳で慰問2200回達成！

5.25 wed

手品や腹話術などでお年寄りや子どもたちへの慰問活動を続ける松崎の池田繁さん（91）が、活動通算2200回を達成したことを、相棒「ケンちゃん」とともに平安市長に報告しました。

池田さんは、昭和46年に地域の老人会で民謡を披露したことがきっかけで活動を始められ、現在は筑後地区を中心に施設や敬老会などで活躍されています。

「皆さんの笑顔のおかげで、元気に続けてこられた。体が動く限り、活動を続けていきたい」と話す池田さんに對し、平安市長は「元気に活躍されている姿は、誰もが驚き笑顔になる。ぜひ2300回をめざしてください」と活動をたたえました。



一つでも多くの勝利を！
全国空手道選手権大会出場

6.9 thu

第36回福岡県少年空手道選手権大会で、希み道場に所属する寺崎稜央さん（三国中1年）、武田大和さん（のぞみが丘小5年）、武田陸来さん（同小5年）、佐々木萌さん（同小5年）、中島和花さん（同小3年）が好成績を収め、平安市長に報告しました。

7月に岩手県で開催される全国大会に出場する5人は、「福岡県の代表として、全国大会に出場できない人たちの分まで頑張って、1つでも多く勝ち進みたい」と意気込みを語りました。

